

## なからぎ

210号

2015年7月

## 読書の旬

学生部長 椿 一 典

「若いときの苦勞は買ってでもせよ」と私が若い頃によく言われた。きっと今の若者も、私のようなオヤジの世代から同じことを言われているだろう。年長者からの、この類の説教はたいいてい正しい。年長者は自身の過去をふり返り、「あの時に、もう一步踏み込んでいたら」とか「あの時に、一步踏み込んでいたからこそ、うまく事が運んだ」など、後付で人生の三叉路に気付く。そして若者にその重要性を伝えたく思い、また若者が三叉路にさしかかっているのが判るため、上の助言をするわけである。しかし、肝心の若者が何のことか判らぬ事が多く、この手の助言の成功率は2割といったところだろう。若者も三叉路を過ぎてから「ああ、このことだったのだ」と、気がつく。そのため、若者も二、三十年経てば、同じように次の若者に助言するのであろう。世の中、順送りだ。このように受け取る側の状況や、気持ちのあり様によって、助言が生きたり、そうでなかったりする。

一冊の本でも同じことだ。どんな名著でも読む人の状況によって、影響が違って来る。また読むときの年齢なども大きな要因だろう。私のようなオヤジが、一冊の本を読み、「ああ面白かった、感動した」と、言ったところで、これからの人生が大きく変わる事は無い。進路の変更の振れ幅も小さく、いままで歩んできたベクトルから90度折れ曲がるのは容易ではない。「人生いつからでもやり直せます」などというが、私はあまり信じていない。逆に言うと、若いときに旬の一冊にめぐり合えば、以降の人生に決定的な影響を受ける。ふり返ってみると、私は高校時代から大学時代に質量ともに最もたくさんの本を読んだ。北杜夫、遠藤周作、阿川弘之らの第三の新人たち、畑正憲や山口瞳のエッセイ、新田次郎、司馬遼太郎、吉川栄治、梅原猛らの歴史ものなどだ。それらの中から、子母澤寛の『勝海舟』と王貞治の『回想』の二冊は大きな影響を受けたように思う。先入観を与えるのもナンなので、内容や感想は書かないが、大学の一、二回生には是非、読んで欲しいお勧めの本である。

京都府立大学に移って7年余りになるが、年々読書の量が減っている。通勤の地下鉄での25分（往復で50分）が私の貴重な読書時間だが、読むのは仕事の本ばかりである。余裕が無くなっていくんだねえ、と自分でも思うこの頃である。

（つばき かずのり：生命環境科学研究科教授）

御紹介の『勝海舟 改版 全6巻』（新潮文庫）子母澤寛著 新潮社（請求番号913.6 || S || 1～6）、『回想』王貞治著 勁文社（請求番号783.7 || O）は、2階閲覧室入口に配架していますので御活用ください。

## デジタル化時代の古典学研究

図書館運営委員 中 純 夫

私の専門は中国近世思想史、朝鮮近世思想史です。扱う時代は近世ですが、中国や朝鮮は儒教文化圏であり、四書五経など儒教の古典（経書）をベースにして議論が展開されるという特色は、近世になっても変わりありません。その意味では私の専門領域も、一種の古典学研究だと言えるでしょう。私が研究対象として扱う資料は専ら思想史関係の漢文であり、それらは通常、経書解釈をめぐる議論の形をとり、経書を典拠とする表現や先人による経書解釈の引用などに満ち満ちています。従って資料を正確に読み解くには、引用された原典に一々当たる、という地道な作業が不可欠となります。

自分の学生時代を振り返ると、3 回生になって専門課程（文学部哲学科中国哲学史専攻）に進学した我々は、来る日も来る日も辞書を引き、原典に当たるという作業に追われました。といっても、手元にはひもとくべき大辞典も当たるべき原典も有るはずはなく、家（下宿先）では全く予習にならない為、毎日文学部閲覧室に通い詰めました。やがて、家でも最低限度の予習ができるように、基本書籍の購入が始まります。アルバイトをしていなかった学部時代は、親元から仕送りが振り込まれた直後、まとまった金額があるうちに買いたい本をさっさと買ってしまい、その後は食費を切りつめて耐乏生活に入る、といったことを毎月繰り返しました。マルシン

のハンバーグともやし一袋を炒め合わせてご飯をかき込む、というメニューで一晩100円以内に収めた日々を、今も思い起こします。

当時はまだパソコンも普及しておらず、卒論や修論はもちろん手書き。締め切り前日に数人がかりで徹夜して、先輩の修論の清書を手伝ったこともありました。internet や e-mail 等という言葉が我々の耳に入ってくるのは、それからまだ10年以上も後のことです。

今は中国でも韓国でも、漢籍のデジタル化が急速に進んでいます。internet 上にフリーアクセス（無料）の漢籍データベースが多数存在し、一字検索も瞬時に行えます。韓国学関係で言えば、承政院日記、朝鮮王朝実録、影印標点韓国文集叢刊、といった膨大な資料が、いずれもネット上で惜しげもなく（！）公開されています。また中国学関係では、有料ではありますが、多数の典籍がデジタル化され販売されています。例えば文淵閣四庫全書という巨大叢書が本学附属図書館にも架蔵されているのは、我々利用者にとっては大変有り難いことですが、これもつとに CD-ROM 版が出現し、一字検索が可能です。四部叢刊、続集四庫全書、四庫全書存目叢書といった叢書も、PDF 版が販売されています。因みに四半世紀前に購入した明実録は縮刷版で文字が小さく、老眼の進行した今の私には判読が極めて厳しいのですが、デジタル化テキストの入手により、苦境を逃れることができました

た。デジタル版は老人にも優しいのです。

我々の学生時代は出典調べの為、見当をつけた書籍を頭から一枚一枚頁を繰り、典拠となった表現を探し、といった根気の要る作業を日常的に繰り返していましたが、今はそんな作業も殆ど不要になりました。もちろんそういう作業が無駄だとは思いません。頁を繰りながら、その書籍のどこにどんなことが書いてあるのかが、自然と感覚的に身に付く、といった得難い効用もあります。ただデジタル化の今の時代、そんな作業は学生に望むべくもありませんし、第一、一字検索の恩恵にどっぷり首までつかった今の自分では、もう一度アナログ時代の作業を繰り返せと言われても、瞬時に音を上げてしまうでしょう。私は使えるものは何でも利用せよ、という主義ですから、原書講読の授業では、学生にも真っ先にネット検索の方法を教えていますし、自分個人でもデジタル化したテキストは可能な限りせっせと購入して研究環境を整えています。

私の専門は思想史なので、論理の入り組んだ晦渋な文章を読解し、その理路を跡づけ論点を整理する作業が日常的に必要となります。そういう場合、原文をまずは段落分けし、段落ごとの内容を整理し、重要な語彙については用例を拾ったり分類したり、といった作業を通して、資料を読み込んでいきます。その際、対象となる資料がデジタル化されていなければ、まずは原文の入力から始めねばなりません。分量が多い場合、それは文字通り気の遠くなるような時間と労力を要する作業となり、原文を打ち込むだけでへとへとに疲弊してしまいます。しかし電子テキストが有れば、瞬時にテキストデータを得られますから、

入力に要する時間を省き、いきなり内容の整理作業に入れます。そういう時にこそ私は、デジタル化時代の恩恵を身を以て痛感するわけです。

図書館の書籍は増え続けこそすれ減ることはなく、スペースは有限です。基本書籍はどの図書館でも架蔵が必要でしょうが、一方では他機関所蔵資料の相互利用やデジタル化資料の購入により、費用やスペースを節約することで図書館機能を効率的に拡充する、という発想も有ってよいのかも知れません。

例えば本学図書館の場合、「マイライブラリー」のシステムを利用すれば、他機関所蔵資料の複写や借り出しを、web 上で依頼することができます。他機関に出かけて図書館書庫に入り、お目当ての資料を探し出すことももちろん貴重な体験ですが、出かける時間のない時には非常に便利なシステムです。私が卒論指導を行う際、真っ先に学生にお願いするのは、図書館カウンターに行き「マイライブラリー」の利用者 ID を申請することです。それによって、卒論を書く上で参照すべき膨大な先行研究（雑誌掲載論文等）の入手も、極めてスムーズに行えるようになるからです。私自身も「マイライブラリー」の恩恵は日々被っています。外国雑誌の掲載論文で書誌情報が不十分な場合などでも、本学図書館の有能な司書さんに助けられて無事入手できたことが少なくありません。また膨大な叢書中の一冊を閲覧したいと思う場合も、大抵は他機関からの借り出しが可能です。他機関の蔵書を公共の財産として相互利用できるのであれば、当該の叢書をわざわざ丸ごと本学で購入しなくても済むわけです。

(なか すみお：文学部教授)

## 平成26年度の利用者サービスをふりかえって

### 新サービスの試行始まる

～国立国会図書館 図書館向けデジタル化送信サービス～

昨年 7 月から試行的にサービスを開始しました。(学内者限定のサービスです。)

戦前の資料ばかりと思われがちですが、戦後に発行された図書や発行年が1980～90年代の雑誌に掲載された論文を見ることができた例も多数ありました。

本文の閲覧は附属図書館の専用端末からになりますが、検索や目次の表示までは自宅 PC からでも可能です。「もしかして……」と思われたら、学外に取寄せ依頼される前に一度お試しください。

利用に関する詳細は17時までに図書館カウンターで職員にお尋ねください。



昨年度 アクセス数 40件 (業務用も含む)  
複写件数 教職員 3件 学生 9件  
複写枚数 教職員 31枚 学生 807枚

### 貸出冊数の減少は続くも 電子資料の利用は年々増加

貸出冊数は6年ぶりに学生(学部生+院生)の貸出冊数が2万冊を切っていました。4月にサービスを開始した新図書館システム導入に伴う休館も一つの要因かと思われます。

電子ジャーナルのアクセス数は24年の1.2倍、電子ブックのアクセス数はタイトル数が増えたことありますが、18倍にもなっています。

### 他大学からの訪問利用増加

(24年度 -80件、25年度 -91件、26年 -105件)

21年度から減少していた他大学からの利用が3年連続増加しています。

後期から稲盛会館での授業も始まり、協定校の方の来館も以前より増えています。

今年度は更なる利用者増が見込まれます。

# Link 京都府立大学 S.F.X京府大 を活用しよう！

4月から、CiNiiやGoogle Scholar等のデータベースの検索結果に、アイコンや【京都府立大学で探す】という表示が出てくることにお気づきでしょうか？（注意：学内からのアクセスのみ。『SpringerLink』『聞蔵Ⅱ』除く）これらのアイコンや表示は、とても優れたもの。

クリックすると、学内の所蔵検索はもちろん、論文の全文(フルテキスト)情報、見つからない時は学外への取寄依頼へと、あちこちのサイトを開くことなく、スムーズにアクセスすることができます。



PubMedは、図書館HPの上の方のメニューバーの[データベース]からアクセスしてください。

<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/?otool=ijpkpplib>

検索結果に表示される

Link 京都府立大学 S.F.X京府大 や

【京都府立大学で探す】をクリックすると・・・

Kyoto Prefectural University  
京都府立大学

全文を探す Find Full Text

論文タイトル: 野外に生息するイネコ(Felis catus)の採餌行動や空間利用に対する姿勢・避妊の影響  
出典: ヒトと動物の関係学会誌 = Japanese journal of human animal relations [1341-8874] 九号, 哲平号:33 頁:67-73

▼ 電子ジャーナルを読む

フルテキスト  
フルテキストへのリンクはありません  
無料のフルテキストを探す

CiNii Articles で検索  
論文タイトル: 野外に生息するイネコ(Felis catus) / 検索語: 野外に生息するイネコ(Felis catus) /

JAIRQ で検索  
論文タイトル: 野外に生息するイネコ(Felis catus) / 検索語: 野外に生息するイネコ(Felis catus) /

Google Scholar で検索  
Article Title: 野外に生息するイネコ(Felis catus) / 検索語: 野外に生息するイネコ(Felis catus) /

OLster(WorldCat) で検索  
論文タイトル: 野外に生息するイネコ(Felis catus) / 検索語: 野外に生息するイネコ(Felis catus) /

NCBI PubMed で検索  
Author Name: 凡字 / 検索語: 凡字

▼ 学外へ依頼する

ILL:文献の取り寄せ  
蔵書検索(OPAC)で学内に所蔵がないことを確認して申し込んでください。

▼ 京都府立大学・他館の所蔵を探す

京都府立大学附属図書館OPACで所蔵を確認  
該当する資料がありませんでした。

CiNii Books で所蔵を確認  
甲ヒトと動物の関係学会誌 (13題で所蔵)

NDL-OPAC(国立国会図書館)で所蔵を確認

京都府立大学機関リポジトリ  
雑誌名: ヒトと動物の関係学会誌 = Japanese / Search Terms: ヒトと動物の関係学会誌 = Japanese


●本学で契約している電子ジャーナル、フリーで見られる全文情報へアクセスできます。  
注意:表紙等一部の情報のみの場合もあります。

●オンラインで見られない、学内に所蔵していない時、学外への取寄依頼ができます  
(有料、要事前パスワード登録)

●本学や他大学等での所蔵を確認することができます。

# 7/27(月)~ 夏休み貸出 START!

学部生・院生の皆さん、



×

12冊

## 借りられます!!

返却予定日は  
**10/5(月)**

※院生・4回生の皆さんの特別貸出(1ヶ月6冊)はそのまま。  
合わせて18冊借りられます。

## カレンダー

**開館時間**

9:00~ 21:00	9:00~ 17:00	休館 土日祝 蔵書点検
----------------	----------------	-------------------

☆閉館時の図書の返却は、図書館西側(喫煙コーナー付近)の返却ポストをご利用ください。

2015年7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2015年8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2015年9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

<p>★7/25(土)・26(日) 10:00~16:00、2階閲覧室のみ開室 (オープンキャンパスのため) 通常業務は行えません。</p> <p>★7/27(月)~ 夏休み貸出スタート 返却期限 10/5(月) 本学学生の貸出冊数 12冊</p>	<p>★8/10(月)~12(水) 開館時間変更 9:00~17:00</p> <p>★8/13(木)~31(月) 2階閲覧室(書庫を含む)休室 (蔵書点検のため) 学内者は3階各室利用可能 (9:00~17:00)</p>	<p>★9/1(火)~25(金) 開館時間変更 9:00~17:00</p> <p>★9/24(木)~ 通常貸出</p> <p>★9/28(月)~ 通常開館(21:00閉館)</p>
--	--	---